

楽しい大阪に向けた提案

観光局長 加納 國雄

大阪を、府民はもちろん、外国人にとっても楽しめるまちにしていきたい。観光局では4月から7月に外国人対象のアンケートを実施した。その中でも大阪を楽しいまちにするためには特に以下が必要というご意見が多数あり。規制改革会議においてもぜひご議論いただきたい。

1. ダンス規制の緩和

- 外国から来られた方から、「東京にはナイトカルチャーはあるが、大阪にはない」といわれる。大阪の観光振興をやるものにとってショック。
- そこには風営法のダンス規制が大阪は厳しいということがあるようだ。飲食店はオールナイトでも営業できるのに、ダンスが加わると午前一時までに制限を受ける。
- ダンス規制はダンスホールで売春行為がやられていたころ、1948年にできた規制といわれている。世の中が変わっているのに旧態依然の規制がそのまま残っているのはいかがか。
- その中でも特に大阪の規制は厳しい。外国人は規制がゆるい京都や神戸に宿泊しにいつている。大阪の宿泊客を逃してしまっている。
- 外国人は、食べて呑んで踊るのがナイトカルチャー。大阪のナイトカルチャーを活性化させることが大阪を外国人にとっても楽しいまちにつながる。ぜひダンス規制の緩和を実現されたい

2. 地下鉄の営業時間の延長

- 地下鉄の営業終了時間が東京に比べて早すぎる。夜にイベントをやっても地下鉄の終電を意識して客が早くに家路にむかってしまう。
- 大阪でナイトカルチャーを盛んにさせるため、重要な交通機関である地下鉄の営業時間、特に土日の終電時間をもっと深夜まで延長されたい。大阪商工会議所からも同じ意見と伺っている。

3. 御堂筋等の活用

- 現在、御堂筋は KAPPO や FESTA、大阪マラソンなどの際に、イベント活用されているが、より一層の利活用ができるようお願いしたい。
- たとえば、ニューヨークで行われている「バイク・NY」というイベントがある。大人も子供もいろんな方が自転車でレースを楽しめる、5万人参加のイベント。私は大阪でも、御堂筋から南港までの公道を活用して「バイク大阪」というイベントをやってみたいと思う。
- 大阪には坂が少ないので、こうしたイベントにはぴったり。しかし、オーガナイザーにきくと、様々な制約があって実現は困難ときく。御堂筋等の公道をより一層活用できるよう規制緩和等にとりこんでいただきたい。